

受験番号 氏名

「交通・都市計画」は問1～問4までの全4問です。試験問題は2ページあります。それぞれの設問の問題文をよく読み、指示に従って解答してください。他の科目と同じ解答用紙には解答しないでください。解答用紙には解答した問番号がわかるように、解答用紙に記入してください。採点時に問番号がわからない解答は0点となります。解答用紙は、問1と問2で1枚、問3と問4で1枚としてください。

問1 都市計画事業および都市計画制限について、都市計画の3つの柱との関係も含めて説明しなさい。

<解答>

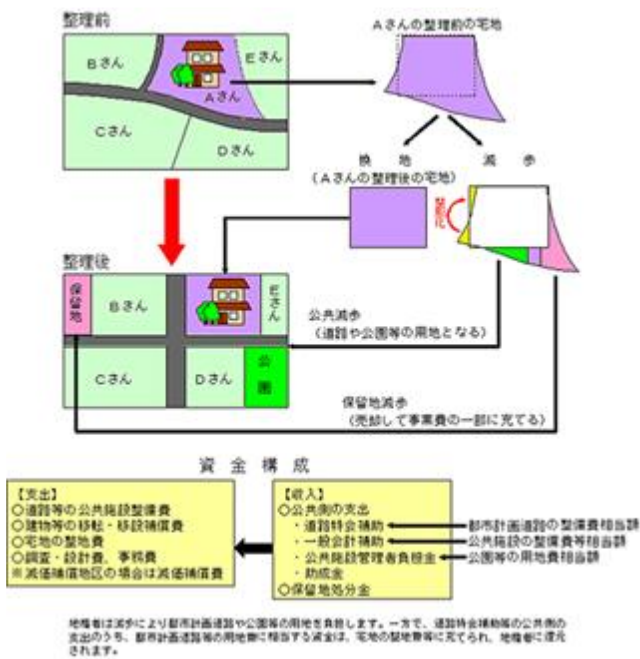
- 都市計画制限：私的所有の土地において、その改変や建設行為に対し、規制を加えるもの。
土地利用計画そのもの、市街地開発事業の部分的なものに相当
- 都市計画事業：公共団体が、何らかの方法により土地を入手して(買収など)、事業を直接推進するもの。
都市施設整備そのもの、市街地開発事業の部分的なものに相当

問2 都市計画区域内のA地区は、住居と農地が混在する地区である。地区内の建物はすべて2階建て以下である。また地区内の道路は狭く、十分な公共スペースも存在しない。用途は無指定である。この地区を戸建て住居のみで構成される市街地として一体的に整備したい。どのような都市計画上の制度を活用すべきか。

- 1) その制度事業名は何か。
- 2) その制度を用いた場合の事業前後の地区の姿を簡単に図示し、同事業において必要な公共用地、事業資金を生み出す原理を、図を用いながら適切な語を用いて説明しなさい。
- 3) 事業後はどのような用途地域を指定すべきか。

<解答>

- 1) 土地地区画整理事業
- 2) 土地の所有者から、減歩として土地を確保し、公共用地に充て(公共減歩)、また保留地に充てて(保留地減歩)、保留地を売却することで事業費の一部に充てる。
- 3) 住居系用途、特に第1種低層住居専用地域が考えられる。



受験番号

氏名

問3

- (1) ペリーの近隣住区論について説明しなさい。
- (2) 住宅地における自動車の速度抑制装置を2つ挙げ、それぞれ説明しなさい。

<解答>

- (1) 住宅地の交通計画の考え方の代表例であるペリーの近隣住区論について説明すればよい
- (2) 住宅地の自動車速度抑制装置（ハンプ、一方通行など）について説明すればよい

問4

- (1) 道路の縦断勾配と横断勾配についてそれぞれ説明しなさい。
- (2) 合成勾配について説明し、合成勾配が大きくなりすぎるケースを具体的に説明しなさい。
- (3) 緩和曲線について説明し、緩和曲線が必要な箇所を具体的に説明しなさい。

<解答>

- (1) 道路縦断設計に必要となる縦断勾配と横断勾配を説明すればよい
- (2) 縦断勾配と横断勾配からなる合成勾配を説明し、設計時に注意すべき点について具体的な説明をすればよい
- (3) 局率の変化する箇所に導入する緩和曲線の説明を行い、具体例を説明すればよい